

多面体の家。

produced by K.DESIGN HOUSE
text by MASASHI Fujita
photo by Takizawa Photo Works

シンプルなモデルハウスに 自分だけのイメージを描こう

この夏、新潟市中央区女池エリアに新しいモデルハウスがオープンしました。なんと珍しい八角形の土地に建っていて、その名も「TAMENTAI NO IE.」(多面体の家)。これは面白そうだけど、ということで、素敵なお家があると聞けば西へ東へどこへでも飛んでいくクラス編集部、早速お邪魔してきました。

このモデルハウスを設計したのは、「考え方や生活スタイルを家づくりでデザインすること」を大切にしている「K.DESIGN HOUSE」の桐生さん。モデルハウスでありながら、「お客さまがそれぞれのカラーをイメージしやすいように」と、装飾部分はいたってシンプル。そのかわり、基礎や断熱工事などにコストを割いて、住み心地が抜群の家になっているそうです。特に、新潟の気候風土で暮らすことを考えたという四季を感じる工夫は、なるほど、これは一見

の価値がありませんね。

私たちクラス編集部が印象に残っているのは、なんといってもリビングの大きな窓。サッシの高さは2メートル80センチ。住宅用ではなくビル用のガラスを採用しているとのこと、隣家の屋根越しに空が広がるその開放感たるや…うーん、最高です！その他にも、ワンルームを仕切って区切るのはなく段差を生かして高さで区切った斬新な発想の子ども部屋や、階段の吹き抜けを生かして家族のコミュニケーションを大切にしたいスキップフロアの書斎スペース、安眠を導く寝室とサンルームの関係など、とにかく新しいアイデアが満載です。

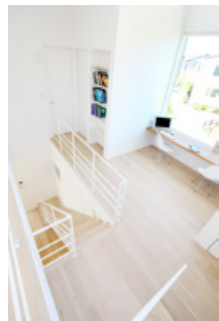
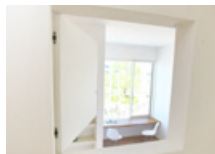
「自分たちだったら何を取り入れる？」そんな問いかけが自然と生まれるモデルハウス。「軒まるごと、家づくりの提案です。是非、皆さんも足を運んで、その新しさを感じてみて下さい！」



柔らかい印象のシャープな外観
大きな窓が目立つ白い外観。形はシャープですが、外壁が左官仕上げ(塗り壁素材をコテを使って仕上げる)なのでどこか柔らかい印象に。外壁材は雨が降ると自然に汚れが落ちる効果があるそうです。裏にはキレイに芝を敷かれた庭があり、リビングから見渡せます。

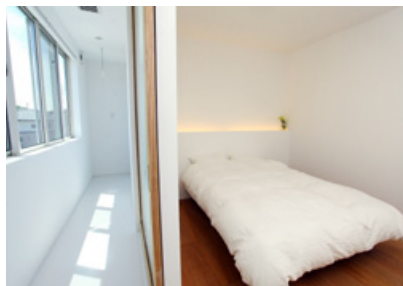


大きな窓の共用スペース
リビングと同じ大きな窓は2階の共用スペースにも採用されています。眼下には公園が見渡せ、このスペースも開放感にあふれています。

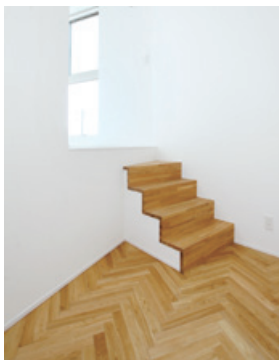


段差で仕切った子供部屋

1部屋としても2部屋としても使える子供部屋。仕切りはなんと段差で設けてます。選択肢を広げる為の桐生さんからの提案です。子供部屋はイメージをかえる為、床をヘリンボーン張りに。



快適な寝室を求めて
夏暑く、冬寒い新潟で快適に眠る為の工夫。寝室に直接窓を設けず、サンルームを挟む事で暑さ寒さの対策になっています。



コンパクトなカウンターキッチン

ダイニングテーブルではなくカウンターの提案。テーブルを置くよりも使うスペースが少なくすもので、リビングが広く使えます。実はこのカウンター、足がどこにも無いのです。どうりで、キッチン周りがすっきり見える訳ですね。



大きな窓と高い天井が生む開放感
2m80cm(通常は2m~20m20cm)の高さがある窓はビル用のガラスを採用。大きな窓と高い天井でリビングは驚くほど開放感を感じます。床、壁、天井、家具など家の物は全て白で統一。特に床はこだわりの白。無垢のフローリングに塗装を施しています。

KEY POINT #06

モデルハウスには新しいアイデアが満載!

写真や図面だけでは伝わらない空間の印象、素材の手触り、暮らし心地、空気感など、現場でしか分からないことは多いもの。「モデルハウス」は、住宅一軒がまるごとそのビルダーの家づくりの提案です。家づくりのプロの提案を肌で感じて、「あ、ここはうちも取り入れたいかも!」というポイントをじっくり探してみましょう。きっといいアイデアを手に入れられるはず。

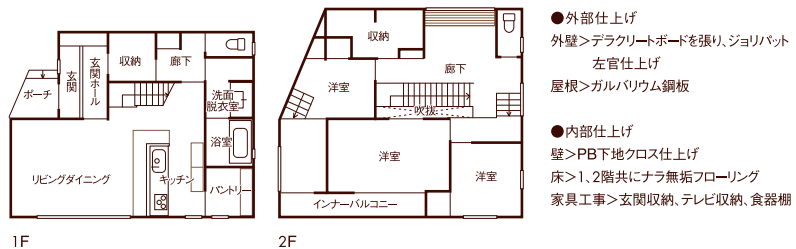


桐生建設
K.DESIGN HOUSE

胎内オフィス
〒959-2618 胎内市高野765-3
tel.0254-43-5475

新潟オフィス
〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2丁目11-16
tel.025-378-6120

<http://www.kiryukensetsu.jp>



所在地 新潟市中央区 / 構造 在来軸組工法 / 敷地面積 154.25㎡(46.7坪) / 延床面積 122.97㎡(37.3坪) / 工事期間 3ヵ月半 / 竣工 2011年6月

- 外部仕上げ
外壁>テラクリートボードを張り、ジョリパット
左官仕上げ
屋根>ガルバリウム鋼板
- 内部仕上げ
壁>PB下地クロス仕上げ
床>1,2階共にナラ無垢フローリング
家具工事>玄関収納、テレビ収納、食器棚

小山 寝室には、特にそれがあらわれていまずよな。

桐生 寝室は暑くなく寒くなく安眠ができる場所です。夏はサンルームを伸介することで直接日光が入らないように、冬は寒かったら扉で仕切って冷気が入らないようになっています。

小山 心地よく眠れそうですね。

桐生 それに新潟の場合は冬の室内干しというの重要な要素だと思っので、サンルームは廊下としてだけじゃなく物干スペースとしても使って欲しいですね。

小山 素材や構造にもこだわりがありますよな。

桐生 耐震構造にしろ高気密高断熱にしろ、外見からは隠れてしまうことなんですけれど、住みはじめてからの快適性は重視しました。建物が長持ちする、デザインは飽きがこなくてシンプル。これは今回大切にした部分ですね。

小山 そしてもっともリビングの高い天井と窓。

桐生 窓のサッシは高さが2メートル80センチあります。通常は2メートルと2メートル20センチなんですけれど、空が見えるように高くしたいと思ったんですよ。

小山 60センチの差でずいぶん景色が変わりますね。これは気持ちいい開放感だなあ。他にも子ども部屋を段差で仕切るなど、この家には本当にこれまで見たことのないような新しい提案が詰まっています。

桐生 モデルハウスなので、普通の家と少し違う部分はもちろんあります。でも「ここは自分たちの家に取り入れられるね」という風を感じていただけたらいいなと思っています。